

令和3年3月1日

砺波市長 夏野 修 殿

砺波市議会

議長 山本善郎

公共施設対策特別委員会

委員長 川岸 勇

庁舎整備に関する公共施設対策特別委員会としての提言書

当委員会では、市が策定した公共施設再編計画の中でも、庁舎整備は今後の行財政運営において大きな将来的負担となってくることを踏まえ、今後の庁舎整備のあり方について調査・研究してきたところです。その調査・研究結果を踏まえ下記のことを提言するものです。

記

- 1 現庁舎は、耐震性の不足、施設・設備の老朽化及び狭隘化等の様々な課題があり、庁舎機能の充実と市民への利便性向上等が求められていることから、喫緊の課題として、第2次砺波市総合計画後期計画に、庁舎整備に向けての基本構想・基本計画を提示されることを提言する。
- 2 庁舎整備にあたっては、これからの少子化・人口減少問題や財源、費用対効果等を十分視野に入れ、建設場所・規模等については、市民の声を踏まえ、その方向性を明示されたい。
- 3 庁舎整備については、①現庁舎の耐震化を図る②現場所での建設③新たな場所での建設の3案が考えられるが、建設した場合のコスト、現庁舎の耐用年数、行政の効率化、利便性等の様々なことを考えた場合、現在地での建設で、基本構想・基本計画を策定されることが望ましいと考える。

以上